

3. 事業計画の進捗・達成状況

1. はじめに

学園は今後も建学の精神と伝統を継承して「十年先、二十年先に役立つ人作り」のため、常に将来を見据え時代を先取りした教育体制の構築に尽力しつつ、着実な発展を続けていくための教育研究環境の整備充実に一層の力を注いだ。

2. 大学について

基本方針

大学創立20周年（平成7年）にあたり、学園創立以来の建学の精神と伝統を受け継ぎながら、男女共同参画、生涯学習、国際化社会、障がい者や環境にやさしい社会といった時代と社会の要請に答え、大学の理念を「違いを共に生きる」と定め、この理念を具体的に実現するため「地域に根ざし、世界に開く」「役立つものと変わらないもの」「たくましさやさしさを」の三つのテーマを掲げ、男女共学体制に移行した。

その後、この理念にそって、学部、研究科の設置、改組を進めるとともに、学生の学びの質を充実するために、常にカリキュラムを検討し、教育研究体制の改善充実に努めてきた。

また、地域社会に貢献し連携をさらに図るため諸機関の附設を行ってきたところである。

2021年度も、この基本方針の下に策定した、「愛知淑徳大学ビジョン2020」及び「中期計画2020年～2024年」に基づき、学校教育法第109条第2項に規定する認証評価の結果を踏まえて、次のような事業に取り組んだ。

(1) 120周年記念事業 長久手キャンパス整備計画

学校法人愛知淑徳学園が2024年度に学園創立120周年、大学創設50周年を迎えるにあたり、その周年記念事業の一環として、愛知淑徳大学長久手キャンパスの整備を引続きおこなった。

また、本学の健康系分野の教育体制とクリニックの充実を図り、地域社会との連携を強めていくことを目的として、学部・学科の改組及び学科（専攻）を新たに設置する計画に伴う関連施設等の設置工事を開始し、2022年度及び2023年度の完成に向けて取り組んだ。

①2021年度完成

- ・スクールバスと名鉄バスの発着場を同じ場所に統合した。

②2022年度完成予定

- ・13号棟の建設が完了し、「言語聴覚学専攻」及び「視覚科学専攻」を13号棟へ移設する。なお、2024年度開設構想中の「理学療法学専攻（仮称）」、「臨床検査学専攻（仮称）」も13号棟に設置する予定である。

- ・クリニック関連施設（心理臨床相談室は現アースメック棟のまま）も13号棟へ移設し、医療系学部・学科との更なる連携を図る。併せて、メディカルフィットネスを13号棟に設置する。

- ・学生部関連施設を3号棟1階へ移設する。

③2023年度完成予定

- ・2024年度開設構想中の「食健康科学部食創造科学科（仮称）」及び「健康栄養科学研究科（仮称）」関連施設を新1号棟に設置する。

- ・現1号棟にある講義室、ゼミ室、研究室を新1号棟へ移設する。

- ・言語聴覚学専攻・視覚科学専攻現エリアの跡地（11号棟3階・4階）を改修する。

- ・役員室、事務局、企画室を14号棟（現アースメック棟）へ移設する。

（2）ネットワークサーバおよび各種スイッチのリプレイス

大学の長久手キャンパス、星が丘キャンパス、データセンターに設置されているネットワークサーバおよび各種スイッチの安定性や安全性を保つためリプレイス作業を実施した。併せて、オンライン授業、インターネット利用の需要が急速に高まり利用が増えたため、ネットワーク機器や構成を1Gから10G対応とするよう実施内容の見直しをおこなった。

（3）新型コロナウイルスワクチン接種（職域接種）

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る社会的要請に応えるとともに、早期のワクチン接種を実現し、学生・教職員等の健康と安心・安全を守り、教育・研究や学生の様々な活動が制限なく実施できるようになることを目指した。

（4）新型コロナウイルス感染症への対応

特別給付奨学金（臨時経済支援）の給付、健康管理手帳の配付、オンライン授業への環境整備、換気・消毒の徹底（網戸設置工事、食堂等のアクリル衝立（三面）の設置等）、食堂・売店に対する運営補助等様々な新型コロナウイルス感染症への対応を行った。

（5）教育研究体制の充実

中期計画を踏まえ教育研究等環境の充実のため、オンライン入学手続きシステムの導入、救急救命学専攻の実習用救急車・実習機器等の購入、新1号棟・13号棟建設及び既設校舎改修計画のための積み立て（5年目）、一般教室操作卓のAV機器のリプレイス、Adobe(動画編集等)包括契約学生オプションの追加、電話自動交換機（PBX）の更改工事・移転、屋上屋根の防水改修工事、CADソフトウェアの更新、GHP空調機の更新工事、バイク駐輪場の車両管理システム・エレベーター安全装置・防火シャッター危害防止装置等の設置工事、淑友館敷地内土砂崩れ復旧工事（事前土木調査）を行った。

3. 中学校・高等学校について

2021年度は中学校2学年分のタブレット端末を整備した。これらの機器の充実は、文科省が打ち出したGIGAスクール構想の目指す子どもたちの個性に合わせた教育、すなわち変化の激しい時代に生きるためのICTを活用した新しい教育へシフトしていくことを意味するだけでなく、中高中期計画で示された、学習に取り組む意欲を高め、自ら学習する習慣・態度を身につけさせることにも大きく寄与するものである。

健全でたくましい心身の成長に不可欠な体育の授業や学校行事、クラブ活動の場である中アリーナに空調設備を新設した。これにより、構造上夏季に気温が高くなりやすい中アリーナの環境を改善することが可能となった。

中央棟B1階の電灯盤・動力盤の更新工事を行った。これにより漏電による感電及び火災の危険性は大幅に低くなった。